

令和2年度 学校教育自己診断の結果と考察

1、回収率

	保護者 (%)	児童生徒 (%)	教職員 (%)
本年度	221/266 (83%)	187/271 (69%)	127/127 (100%)
令和元年度	189/252 (75%)	168/252 (67%)	117/117 (100%)
平成30年度	175/240 (73%)	160/243 (66%)	119/119 (100%)

2、集計結果について

回答欄の「そう思う」「だいたいそう思う」の合計を肯定的評価、「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計を否定的評価として捉えました。

肯定的評価は70%以上を達成のための基準とし、否定的評価は30%以上を課題として捉えています。
(肯定的評価70%以上、否定的評価30%以上の項目に網掛けをつけています。)

【保護者集計結果】		肯定的	否定的
1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	90%	6%
2	教職員は、子どもの実態・課題にあった授業を行っている。	94%	5%
3	教職員は、それぞれの学部、学年の実態に合わせて適切なキャリア教育（進級、進学、就労等）を行っている。	81%	2%
4	教職員は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	64%	0%
5	教職員は、子どもの発達段階や実態に応じて生命を大切にする心や社会ルールを守る態度の育成に努めている。	83%	1%
6	教職員は、子どもの様子や必要な事項を懇談会や授業参観、連絡帳、便りなどによって発信している。	97%	1%
7	教職員は、施設・作業所や企業、進路の手引きや説明会などの情報を提供している。	90%	3%
8	教職員は、授業参観や学校行事に保護者が参加しやすいように工夫している。	92%	4%
9	教職員は、子どもの障がいについて理解している。	91%	3%
10	教職員は、子どもたちの学習環境として校内の施設・設備を適切に整えている。	89%	4%
11	教職員は、パソコン、大型テレビ、iPadなどのICT機器を効果的に活用している。	78%	6%
12	教職員は、防災対策、防災教育を適切に行っている。	83%	0%
13	教職員は、子どもの個人情報の取り扱いに配慮している。	86%	0%
14	教職員は、個別の教育支援計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成している。	96%	0%
15	教職員は、子どもに関する保護者の悩みや相談に適切に応じている。	91%	2%
16	子どもは、学校の給食を楽しみにしている。	83%	11%

【児童・生徒集計結果】		肯定的	否定的
1	学校へ行くのは楽しいですか。	84%	4%
2	先生は、あなたが大きくなった時のことを教えてください。	47%	11%
3	先生は、あなたが困ったときに話を聞いてくれますか。	82%	3%
4	先生は、マナーやルールなど、勉強以外のことも教えてください。	84%	3%
5	学校の給食はおいしいですか。	86%	3%
6	先生は、あなたががんばったことをほめてくれますか。	90%	2%

【教職員集計結果】		肯定	否定
1	教職員は、教育活動について、教職員間で日常的に話し合っている。	91%	7%
2	教職員は、教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に活かしている。	81%	13%
3	教職員は、命の大切さや社会のルールを守る態度の育成をめざした生活指導をしている。	92%	5%
4	教職員は、進級、進学、就労等について、児童・生徒が興味・関心、適性に 応じた進路選択ができるよう指導を行っている。	77%	13%
5	教職員は、児童・生徒の人権を尊重し、いじめや体罰、不適切な指導を見逃 さない体制を整えている。	94%	4%
6	教職員は、児童・生徒や保護者が悩みや疑問を気軽に相談できる体制を整え ている。	91%	6%
7	教職員は、学校行事が児童・生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・ 改善を行っている。	90%	6%
8	教職員は、児童・生徒の学校での様子を、連絡帳や便り、HP などを通して積 極的に伝えている。	95%	2%
9	教職員は、児童・生徒の実態・課題にあった授業を行っている。	93%	6%
10	教職員は、保護者が授業参観や学校行事に参加しやすいように配慮している。	91%	6%
11	教職員は、児童・生徒の学習環境として校内の施設・設備を適切に整えてい る。	84%	14%
12	教職員は、個別の教育支援計画や個別の指導計画を日々の指導に活かしてい る。	83%	12%
13	教職員は、防災対策、防犯対策を適切に行っている。	86%	13%
14	教職員は、学年会、部会、分掌などの各種会議を、意見交換や合意形成の場 として有効に機能させている。	84%	11%
15	教職員は、食育に関する指導を工夫し、児童・生徒の興味・関心を広げてい る。	72%	20%
16	校長は、自らの教育理念や学校運営の考えを明らかにし、リーダーシップを 発揮している。	81%	15%
17	学校納付金の徴収について概ね理解できている。	69%	24%
18	行事の計画について、事務職員と教員の連携が取れている。	69%	19%
19	児童・生徒の健康状態について、保健室と教員で共有できている。	94%	2%

3、観点別比較

【保護者】		R2	R1	H30
①学校に対する意識に関するもの	肯定的 (%)	90	89	86
	否定的 (%)	6	6	6
②学習指導に関するもの	肯定的 (%)	94	90	85
	否定的 (%)	5	4	7
③進路指導に関するもの	肯定的 (%)	81	79	74
	否定的 (%)	2	5	4
④いじめに関するもの	肯定的 (%)	64	67	79
	否定的 (%)	0	3	9
⑤道徳教育・人権教育に関するもの	肯定的 (%)	83	86	81
	否定的 (%)	1	2	5
⑥情報提供に関するもの	肯定的 (%)	94	93	90
	否定的 (%)	2	2	2
⑦学校教育への参画に関するもの	肯定的 (%)	92	90	88
	否定的 (%)	4	7	6
⑧児童・生徒理解に関するもの（支援学校のみ）	肯定的 (%)	91	88	87
	否定的 (%)	3	5	6

【児童・生徒】		R2	R1	H30
①学校に対する意識に関するもの	肯定的 (%)	84	84	82
	否定的 (%)	4	3	4
②生徒指導に関するもの	肯定的 (%)	90	85	83
	否定的 (%)	2	1	1
③進路指導に関するもの	肯定的 (%)	47	48	37
	否定的 (%)	11	10	12
④いじめに関するもの	肯定的 (%)	82	75	84
	否定的 (%)	3	4	4
⑤教育相談に関するもの	肯定的 (%)	82	75	54
	否定的 (%)	3	4	4
⑥道徳教育・人権教育に関するもの	肯定的 (%)	84	77	59
	否定的 (%)	3	3	4
⑦特別活動、学校行事等に関するもの	肯定的 (%)	84	84	81
	否定的 (%)	4	3	4
⑧児童・生徒の理解に関するもの（支援学校のみ）	肯定的 (%)	90	85	83
	否定的 (%)	2	1	1

【教職員】		R2	R1	H30
①学校組織に関するもの	肯定的 (%)	91	97	75
	否定的 (%)	7	2	20
②教育活動の改善に関するもの	肯定的 (%)	81	85	82
	否定的 (%)	13	11	14
③生徒指導に関するもの	肯定的 (%)	92	90	73
	否定的 (%)	5	8	10
④進路指導に関するもの	肯定的 (%)	77	76	78
	否定的 (%)	13	17	14
⑤いじめに関するもの	肯定的 (%)	94	92	84
	否定的 (%)	4	6	12
⑥教育相談に関するもの	肯定的 (%)	91	91	80
	否定的 (%)	6	7	13
⑦特別活動、学校行事等に関するもの	肯定的 (%)	90	93	92
	否定的 (%)	6	5	5
⑧保護者への情報提供に関するもの	肯定的 (%)	90	97	97
	否定的 (%)	6	2	1
⑨児童・生徒の理解に関するもの（支援学校のみ）	肯定的 (%)	95	90	88
	否定的 (%)	2	8	9

4、考察

今年度は、行政や保健にかかわる観点も含めて点検ができるように、教職員の質問文を3項目追加しました。保護者の皆様、児童・生徒からの回収率は昨年度に比べて上がりました。ご協力ありがとうございました。今後も引き続き高い回収率をめざしていきます。

保護者の集計では16項目中、達成基準に達したものは15項目ありました。一方、基準に達しなかったものは1項目あり、No4 いじめや困ったときの対応について（64%）でした。わからないという回答が30%あり、実感する場面がないので数値が低いと考えられます。否定的評価が30%を越えた項目はありませんでした。

児童・生徒の集計では、6項目中、達成基準に達したものは5項目ありました。基準に達しなかったものは1項目でした。No2「大きくなった時のこと」で、これは昨年度と同じ結果、70%に達しませんでした。No2については、わからないという回答が37%と多いという点について、次年度に向けて検討を進めています。質問文は変更しませんが、質問文といっしょに記述するキーワードを工夫することで、児童・生徒が学校生活と照らし合わせて考えやすくする予定です。否定的評価が30%を越えた項目はありませんでした。

教職員の集計では、19項目中、17項目が達成基準に達しました。基準に達しなかったものは2項目ありました。今年度から新たに加えた質問文で、事務に関わる内容です。否定的評価が30%を越えた項目はありませんでしたが、小学部はNo.17「学校納付金の徴収」、中学部はNo.15「食育に関する指導」、高等部はNo.18「事務職員と教員の連携」について取り上げて検討を進めています。

自由記述では子ども達の障がい理解に関すること、情報提供に関すること、コロナに関わること等の記述をいただきました。ありがとうございました。